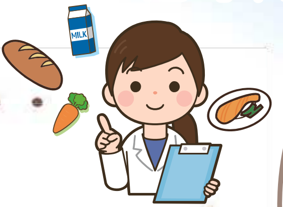
第32回　食育フェア

尼崎市学校給食展

心と体を育てる学校給食

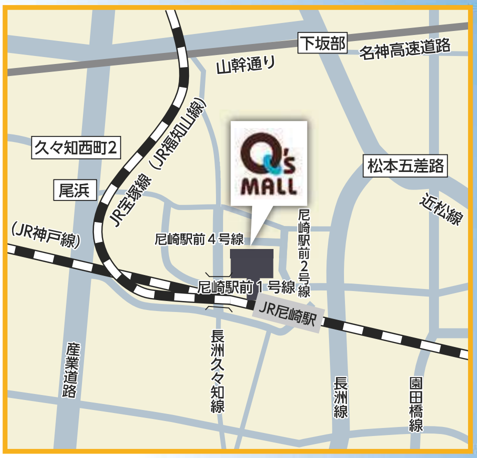
令和7年
1/25 土
26 日
10：00～20：00

場所　あまがさきキューズモール3階
レンガのひろば
尼崎市潮江1丁目3番1号



◎パネル展示
給食指導のようす
学校給食センターの設備紹介
中学校献立コンクール　など

◎映像（大型スクリーン）
小学校、中学校の給食献立
パンができるまで
学校給食センターをのぞいてみよう
美味しい尼崎の給食ができるまで＊


下坂部
名神高速道路
山幹通り
JR宝塚線（JR福知山線）
久々知西町2
尾浜
（JR神戸線）
Q's MALL
松本五差路
近松線
尼崎駅前4号線
尼崎駅前2号線
尼崎駅前1号線
JR尼崎駅
産業道路
長洲久々知線
長洲線
園田橋線

＊の動画はこちらからどうぞ

主催：尼崎市教育委員会
主管：尼崎市栄養教諭・学校栄養職員研究会
【問い合わせ先】尼崎市教育委員会学校給食課
06（4950）5675

おいしく学ぶ！学校給食

学校給食の７つの目標

（学校給食法第二条より）

①健康の保持増進

適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ります。

②望ましい食習慣

食事についての正しい理解や判断力、望ましい食習慣を身につけます。

③社交性と協同の精神

学校生活を豊かにし、明るい社交性と協同の精神を養います。

④自然の尊重

食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることを理解し、生命や自然環境を大切にしようとする態度を培います。

⑤感謝の心

食生活が人々の様々な活動に支えられていることを知り、感謝の心を育みます。

⑥食文化への理解

我が国や、各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めます。

⑦社会の仕組みを理解

食料の生産、流通、消費について正しい理解に導きます。

学校給食は、子どもたちの心身の健やかな育成をはかるため、教育活動の一環として位置づけられています。これらの目標をふまえ、学校給食の充実や食育の取り組みを進めています。

クイズ

日本の学校給食が始まったのはいつ？

①１８８９年（明治２２年）　②１９２１年（大正１０年）　③１９４８年（昭和２３年）

※答えは下にあります。

学校給食が始まったきっかけ

山形県の私立小学校で、貧困家庭の児童を対象に無償で昼食を用意したことが、日本における学校給食の起源とされています。

当時の給食の献立
（おにぎり　鮭の塩焼き　漬物）

尼崎市の食育の取り組み

小学校では、各校の栄養教諭・学校栄養職員と学級担任等が連携を図り、教室やランチルームでの食育指導を通して、望ましい栄養や食事のとり方、食事のマナー、食文化などについて学んでいます。また、給食週間の行事では各校でそれぞれ特色ある催しを行っています。

中学校では毎年、１年生を対象に食育集会を開き、栄養教諭が「成長期に必要な栄養について」の指導を行っています。中学生が健やかに成長するために必要な栄養素や適正量について学習し、自分自身の食生活を見直す機会となっています。また、給食センターの映像から、納品・調理・配送・洗浄などの作業工程、支えてくれる人々の姿を通して、感謝の気持ちを育むことをねらいとしています。

給食は「生きた教材」

学校給食は「生きた教材」として、様々な食教育の場で活用されています。小学校から中学校へ、発達段階に応じて食をおいしく楽しく学ぶことができるよう学校全体で取り組んでいます。

クイズの答え　①　山形県鶴岡町（現鶴岡市）の、大督寺というお寺にあった私立忠愛小学校で実施されたのが始まりとされています。